

がんゲノム医療の流れ（他院の主治医向け）

～遺伝子パネル検査（OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム）～

STEP 1

遺伝子パネル検査（OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム）の希望がある場合は、当院の該当診療科のがんゲノム担当医に直接ご相談ください。
患者さんが、遺伝子パネル検査の適応になるかなどの相談をさせていただきます。

STEP 2

患者さんの腫瘍検体が、遺伝子パネル検査に検出できるかどうかを評価いたします。
患者さんに以下の書類等を鳥取大学医学部附属病院に送付することの同意を得た後、ご相談いただいた該当診療科に郵送してください。

- ① 診療情報提供書
- ② 腫瘍検体評価依頼書（当院指定様式）
- ③ 病理組織標本（HE染色スライド）※ブロックではありません
- ④ 病理診断書のコピー
- ⑤ C-CAT登録記入用紙（がんゲノム情報管理センター登録データ）
※ ⑤の提出は、検査に使用する病理検体（ブロック）の提出時でも結構です。

STEP 3

腫瘍検体評価の結果をご報告いたします。
検査可能と判断された場合、外来日（検査説明日）を調整させていただきます。
検査に使用する病理検体（ブロック）をご相談いただいた該当診療科に郵送してください。

- ⑥ 検査に使用する病理検体（ブロック）
※ STEP2で、HE染色スライドを複数お送りいただいた場合などは、必要なブロックを当院で指定させていただきます

STEP 4

当院がんゲノム担当医、がんゲノム説明医より、患者さんに遺伝子パネル検査の詳細な説明を実施します。検査を受けられる場合は、同意書にご署名をいただきます。

STEP 5

提出されたがん組織の検体から検査のための標本を作製いたします。

STEP 6

標本作製、C-CATへの登録等の手続きが完了した後、当院がんゲノム担当医より、患者さんに採血日時を連絡します。

STEP 7

指定日（外来日）に、受付後、該当診療科で必要な資材等を受け取ってから、検査部で採血を行います。

STEP 8

当院から検査機関へ検査依頼をいたします。
※評価結果で検査可能となった検体でも、解析不良となる場合があります

STEP 9

検査機関から解析結果が返送されます。
解析結果はC-CATに提出します。C-CATは検査データや診療情報に基づき、治療に役立つ情報を「C-CAT調査結果」として、エキスパートパネル（専門家によるカンファレンス）に送付します。

※当院は中核拠点病院（岡山大学病院）に依頼し、エキスパートパネルを行います

STEP 10

エキスパートパネルにおいて解析結果、推奨される治療法等について検討します。

STEP 11

エキスパートパネルレポートに基づき、がん遺伝子解析の結果説明と推奨される治療法を提案いたします。

※検査結果によっては、推奨される治療法がない場合がございます

※C-CAT調査結果、エキスパートパネルレポートは患者さんへお渡しすることを想定したものではありません

STEP 12

当院での結果説明をもとに、紹介元である主治医の先生方と治療方針を決定いただきます。

※検査後の治療は、現在治療を行っている主治医の判断となります



2
か
月
程
度

上記の所要時間は当院の平均時間であり、あくまでも目安です